

郵政民営化委員会（第145回）議事録

日 時：平成27年12月25日（金）9：30～10：15

場 所：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会室

出席者：増田委員長、米澤委員長代理、老川委員、三村委員

○増田委員長

それでは、ただ今から「郵政民営化委員会」の第145回を開催いたします。

清原委員が御欠席であります。委員5名中4名の出席を頂いておりますので、定足数を満たしております。

お手元の議事次第に従い、議事を進めてまいります。今後の郵政民営化の推進の在り方について、本年4月、金融担当の内閣府特命担当大臣及び総務大臣から調査審議の要請を受け、当委員会として調査審議を行ってまいりました。

前回の委員会において御確認いただいた調査審議の視点に基づき、委員の皆様様の御意見を踏まえて、「今後の郵政民営化の推進の在り方に関する郵政民営化委員会の所見（平成27年12月）（案）」として取りまとめさせていただきました。

それでは、本案につきまして、まず事務局から読み上げていただきたいと思います。

お願いします。

○若林事務局次長

資料145-1に基づきまして読み上げます。

（資料145-1を読み上げ）

○増田委員長

ありがとうございました。

以上が所見の案であります。この案につきまして、御意見等がございましたらお願いいたします。よろしゅうございますか。

（「はい」と声あり）

それでは、特に御異論がないようでありますので、本所見案につきましては、これをもって委員会の所見として取りまとめることとし、本日付で金融担当の内閣府特命担当大臣及び総務大臣あてに送付するとともに、本委員会終了後、会見にて発表することといたします。どうぞよろしくお願いいたします。

本日、せっかくの機会でありますので、本件取りまとめに当たって、各委員から一言コメントなどがございましたら、お願いをしたいと思います。

米澤委員長代理からお願いします。

○米澤委員長代理

どうも、皆様方、委員長を含めて御苦勞様ですと私から言うのもおかしいですけれども。

今、改めて見直して、極めて丁寧過ぎるぐらいに丁寧に書かれていますので、非常に良いと思っています。そのために、読む方としては大変かと思えますけれども、議論は尽くされていると思えますので、これでもって皆様方に御理解していただくと良いかと思っています。

○増田委員長

ありがとうございます。

老川委員、どうぞ。

○老川委員

色々な選択肢があり得たわけですが、また、ヒアリング等を通じまして色々な御意見がありましたけれども、全体として公正、中立に、的確にまとまったと考えております。

なかなか一般に分かりづらい面もあると思うのですが、なるべく丁寧に説明をし、また、マーケットもこれを的確に受け止めていただくことを期待したいと思います。

○増田委員長

ありがとうございました。

三村委員、どうぞ。

○三村委員

民営化の今後の進め方についても、きちんとその方向性も提示されておりますし、今回のいわゆる緩和措置についてのロジックも、基本的にはきれいに整理されていると思えます。

今、老川委員がおっしゃいましたように、基本的にこの考え方がきちんと理解されるように、丁寧に説明していただくということが必要かと思えます。

○増田委員長

ありがとうございました。

なお、本日清原委員は御欠席されておりますが、コメントを頂戴しておりますので、事務局から読み上げていただきたいと思います。

○若林事務局次長

それでは、私から代わりに読ませていただきます。

本日は公務のため、会議に出席できませんが、12月25日付で「今後の郵政民営化の推進の在り方に関する郵政民営化委員会の所見」が取りまとめられますことは、この間、増田委員長のリーダーシップの下で、委員の皆様とご一緒に、

関係者へのヒアリングを含めて検討を重ねてきた委員の一人として、有意義であると思います。

私は、11月4日朝、東京証券取引所において、郵政三社の株式上場の場に立ち合わせていただき、郵政民営化が大きな節目を迎えていることを確認しました。

そして、私は、少子長寿化をはじめ多様な地域課題に直面し、その解決に向けて市民の皆様、大学研究機関、産業界、公共機関等と協働を進めている地域において、自治体行政を担当する立場にあることから、何よりも「利用者本位」の郵政民営化の推進を期待しています。

そこで、上場後の郵政グループ各社が、法が要請する「ユニバーサルサービス」を継続するとともに、少子長寿化が進み、地方創生が課題とされる現代において、子ども子育て世代、勤労者や高齢者を含む多世代・多職種が求める多様な郵便及び金融サービス等の充実を図り、地域にあっては他の金融機関等との適切な連携を進め、地域活性化や地域課題の解決に貢献していくことを期待しています。

株式上場後の最初の取りまとめとなる本所見が、郵政民営化の今後の発展に貢献することを願っています。

以上です。

○増田委員長

ありがとうございました。

最後に私の方から申し上げますが、この間、各委員の皆様方に精力的に御審議をいただきまして、大変ありがとうございました。

ただ今の各委員のお話にもございましたとおり、今回、所見がまとまりましたけれども、この所見の趣旨を丁寧に、これから各方面に説明していくということが大変重要になると思っております。

この後、記者会見等も予定されておりますけれども、私もそういった各委員の御意見の御趣旨に沿いながら、できるだけ丁寧に説明していきたいと思っておりますことと、また、引き続き、今後の郵政民営化の推進に向けまして、当委員会として状況を注視していくことが必要であろうと思っておりますので、引き続き御審議、御協力方、よろしくお願い申し上げたいと思っております。大変ありがとうございました。

以上で本日の議題は終了させていただきたいと思っておりますが、委員の皆様、ほかに何かございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、事務局からお願いします。

○若林事務局次長

次回の郵政民営化委員会の開催につきましては、また別途御連絡させていただきます。

だきます。

○増田委員長

以上をもちまして、本日の「郵政民営化委員会」を閉会します。
なお、この後、私から記者会見を行うことといたしております。
本日はどうもありがとうございました。御苦勞様でした。